

分野名：自治公民館活動

自主防災活動の取組による地域防災力の向上

志免町 桜丘南公民館【自治公民館】 公民館主事 助村 千代子

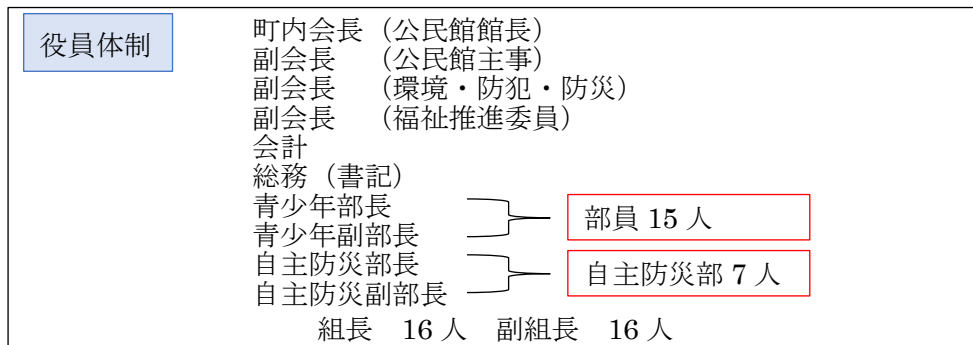
1. 事業名

桜丘南公民館自主防災部活動

2. 事業の目的

「自分たちの地域は自分たちで守る。」という心構えで、災害に対し、平常時から備えの充実を図り、災害発生時における「自助」「共助」を着実に実行することを目的とする。

3. 事業の実施主体



4. 連携・協力機関・団体等

志免町・防災士会福岡県支部

5. 事業予算

自主防災部費 16万円

6. 実施に至る経緯

- H24年町に自主防災組の結成届を公民館として提出するが、活動はなし。
- H29年7月九州北部豪雨被災地の東峰村へ立ち上げメンバー3人で視察研修へ。被災現場を目の当たりにし、防災について深く考えるきっかけとなる。
- H30年11月10日、桜丘南地域の全世帯を対象に防災アンケートを実施。
 - Q 災害時に最も頼りとなるのは？ A 「家族」「ご近所」「町内会」の回答多数。
 - Q 防災に関心があるか？の質問に約87%が「ある」と回答。

この結果を踏まえ、同年12月16、17日に防災士会の協力を得て、防災座学を実施。
○令和元年度より自主防災部が本格始動。（志免町と防災士会との協働事業）

7. 計画の作成

- 桜丘南自主防災構築計画を策定（計画実施は令和元年度～令和3年度）
計画の目的は、「自主防災リーダー育成と部員体制の充実」、「要援護者・支援者体制づくり」、「ご近所避難体制づくり」、「地区防災計画作成」、「各所との防災時支援協定構築」とした。

8. 事業の内容

《令和元年度実施事業》

- 「防災まち歩き」
防災ハザードマップを元に、実際に地域を歩き、避難先への道順や消火栓位置等を確認。
- 「地域ハザードマップづくり」
防災まち歩きで得た情報を基に、桜丘南防災地図を作成し全戸配布。啓発用のぼり作製。
- 「役員会合同視察研修」
被災地の熊本県益城町の仮設団地を視察。
- 「自主防災部学習会」
避難所運営の図上訓練や防災士会協力のもと、学習会を実施。
- 「災害時避難行動についてのアンケート」
全世帯に配布し、要援護者を把握。



《令和2年度実施事業》

※コロナ感染症の影響により当初の計画から変更

- 「チェンソーの使い方講習会」
メーカーの方、JA職員協力のもと、実施。
- 「計画策定と災害用資機材」
地区防災計画、自主防災組織図、緊急連絡網等を作成。災害用トランシーバー購入。



《令和3年度実施事業》

※コロナ感染症の影響により当初の計画から変更

- 「宝くじコミュニティ助成事業による防災資機材の購入」
前年度に申請した助成金が採択され、災害発生時に必要な資機材を購入。



- 「防災展の開催」
防災クイズ、避難所の展示、災害食の紹介、近隣の災害事例をパネル展示。

《令和4年度実施事業》※協働事業最終年度

- 「防災会議」
災害時マイタイムラインの学習等。
- 「第2回防災展・ふれあいフェスタ」
防災意識の周知啓発、防災倉庫設置。

《令和5年度実施事業》

- 「ペットの災害対策勉強会」
ペット同行避難と災害にあったペットについて学ぶ。
- 「レッド・イエローゾーン地域対象の土砂災害防災訓練」
避難所テントでの避難体験等を実施。
- 「第3回防災展ふれあいフェスタ」
自宅避難とローリングストックについて学ぶ。
- 「災害時避難行動についてのアンケートを再実施」
全世帯に配布し、要援護者の把握を行う。
現在、要援護希望者40人に個別計画を作成中。



9. 事業の成果

ゼロからの自主防災活動組織の構築ができつつあり、住民への防災減災の啓発が進んだ事と、自発的な防災活動に関する計画、地区防災計画・災害対応マニュアル等の作成もできた。

10. 今後の課題

各隣組への活動組織の広がりリーダーの育成。魅力ある活動をいかに企画するか。

問合せ先

志免町役場社会教育課社会教育係

〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央一丁目2番1号

TEL 092-935-7100 FAX 092-935-7141 E-mail : syakyo@town.shime.fukuoka.jp